

主題名 里山のためにできること

高学年

中心価値 3－（2）自然愛・環境保全

関連価値 4－（7）郷土愛

じいちゃんからの宿題

1. ねらい 自然からの恵みに気づき、自然環境を守っていくために役立とうとする心情を養う。

2. 主題設定の理由

【ねらいについて】

福井県は、里山に恵まれた地域である。里山は、人の力で手入れが行き届くことにより、生態バランスが保たれている。福井県の場合、肥えた土壌により植生のバランスがよく日本に存在する野生動物のほとんどが生息している。しかしながら、近年は林業が廃れ、そのための人手不足から、放置されたままの山が増えている。その結果、野生動物が人が居住している地域にまで、出没する被害が多く報告されるようになった。自然の中で、ハイキングや魚釣り、キャンプ等を楽しんだ経験をもつ子どもは多いが、里山が人の手で維持されていることには気づいていない。小学生の間から受け継いできた豊かな自然環境である里山に関心を持ち、守りたいと願い、自分も何かできないかと考えることができる心情を養うことが必要である。

【児童の実態】

この時期の児童は、自然や環境に対して興味・関心を持ち、自分たちが自然の恵みを受けて生きていることや、自然を破壊すれば人間の生存も危ぶまれることは知っている。また、自然を大切にし、守っていかなければならないという心情も育ちつつある。そんな児童にとって、環境保全の観点から、里山でどんな状況が進んでいるかを知ることが大切である。同時に、里山を守っていくために考える機会をもつことや役立ちたいという心情を養うことが必要である。

【資料について】

弟と二人で魚釣りをして、里山の自然を楽しんだ主人公は、それが当たり前存在しているところから、里山は人の手で保たれていたことや手入れをしなければ、その自然環境を失ってしまうことを、祖父の話で初めて知る。「年寄りにはもう時間がない」という祖父の言葉に、自分も、里山の問題を解決していく当事者だと気づき、みんなで考えていくことが必要だと考えつく。里山に恵まれた福井県に育つ子どもたちに向けて問題提起する資料である。

3. 指導展開のポイント

導入では、児童がこれまで自然の中で遊んだりしてふれた自然のよさを想起させたい。その自然環境が人が手入れをしなくなれば、現状を保てなくなることを知ることで、自分たちの問題として考えさせたい。

4. 授業の展開例

| | 学習活動（主な発問・予想される児童の反応） | 指導上の留意点 （評価の観点と評価方法） |
|-----------------------|--|---|
| 導 入 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の中で遊んで、楽しかったことを話し合う。 ・キャンプへ行って見た星空が、きれいだった。 ・夏休みの朝早く、山に行行ってカブトムシを捕まえて、うれしかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ○福井百景の中から里山・里海湖の写真を提示する。宿泊学習等の自然体験の写真を見て話し合うのもよい。 |
| 展 開 | <p>「じいちゃんからの宿題」を読んで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○谷川での魚釣りには、どんな楽しみがあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・山道が涼しくて気持ちが良い。 ・釣り竿を竹で、作ってもらえる。 ・弟にいいところを見せようとがんばることができる。 ・魚がたくさんつれて、楽しい。 ・弟も喜んでいてうれしい。 ・釣った魚を食べるのが楽しみ。 ○話をしているじいちゃんが寂しそうだったのはなぜだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・山の仕事をする人がいなくなって、山が生まれ変わらなくなったから。 ・里山は手入れをしないと守れないから ・手入れをしないと、けものがいなくなってしまうから。 ・けものがいなくなると山がだめになるから。 ・人間の生きる場所もなくなるかもしれないから。 ○「年寄りには時間がない」と言った「じいちゃんからの宿題」をどう解決するとよいか。 <ul style="list-style-type: none"> ・じいちゃんの話が学校の集会で話してもらおう。 ・福井県の5年生が毎年手伝うきまりをつくったらよい。 ・小中学生がボランティアで夏休みに里山に行行って、手入れを手伝う。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○里山問題について、自分はどうしたいかをワークシートに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・里山のこともっと調べよう。 ・山の手入れのことを知りたい。 ・里山を守る体験活動に参加したい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○イメージが浮かぶよう棚田や谷川の写真を提示するとよい。 ○五感を使って、楽しんでいることや魚釣りを通して、たくましく成長している主人公に目を向けさせたい。 ○里山は人の手が入ることで、保たれていることや手入れが継続的に必要であることに気づかせたい。 ○理科と関連させて、高くなる木を間引いて、低木に日光が当たるようにすることが必要であることを知らせる。 ○里山が保たれることが生態系のバランスを保つことやクマやイノシシの問題にも繋がっていることを知らせる。 ○「年寄りには時間がない」という文言から、小学生の自分が考える当事者であることを意識させる ○一人では難しくても、みんなが力を合わせれば大きな力になることに気づかせたい。 ○里山問題を広く知ってもらうことも大事である。 ○継続的に取り組んでいく方法が必要であることを認識させたい。 ■里山に関心をもつことができたか。 (発表) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○用紙に書くことで、自分の問題として考えをもたせる。 ■里山の問題を自分自身にも関わる問題ととらえ、考えているか。 (ワークシート、発表) |
| 終 末 ・ 発 展 | <ul style="list-style-type: none"> ○教師の説話 越前市の「コウノリの話」を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○添付資料を読み、里山復活のために尽力している人がいることを伝えることで、今後の意識付けとする。 |

5. 板書計画例

「じいちゃんからの宿題」を解決するには

- ・山の仕事をする人がいなくなって、山が生まれ変わらなくなったから
- ・里山は手入れをしないと守れないから
- ・手入れをしないと、けものがいなくなってしま

わたしができること

- ・里山のことをもっと調べよう。
- ・山の手入れのことを知りたい。
- ・里山を守る体験活動に参加したい。

谷川での魚釣りの楽しみ

- ・山道が涼しくて気持ち
- ・釣りがよ
- ・釣り竿を竹で、作っ
- ・もらえ
- ・弟にいいところを見せ
- ・ようとうががんばることが
- ・できる
- ・魚がたくさんつれて、
- ・楽しい
- ・弟も喜んでいてうれし
- ・釣った魚を食べるのが
- ・楽しい

自然の中で遊んで、楽しかったこと

- ・キャンプで見た星空がきれい
- ・夏休みの朝早く、山に行って
- ・カブトムシを捕まえた



※資料や写真、地図の提示には、パソコンやタブレットを活用するとよい。